

精神保健福祉

みやまき



58

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

2018

表紙説明

「はなしょうぶ」

(一般財団法人みやざき公園協会提供)

「青いTシャツ」 に込められた願い

この青いTシャツ（愛称：青T）には、
人知れずいつもたった一人ぼっちで悩み続ける方に向けて、
隣にいる誰でもかまわないから 何時でもかまわないから 少しでもかまわないから
「ひとりで悩まないで 誰かに話してみませんか」
というメッセージが込められています。

巻 頭 言

「宮崎いのちの電話」設立される！！

宮崎県精神保健福祉連絡協議会
会長 高 宮 眞 樹

平成29年の宮崎県の自死者数は199人でした。平成9年以降ではじめて200人を下回りました。平成19年の394人をピークに減少を続け、自死者対策に取り組まれておられる関係者各位の努力のたまものと感謝申し上げます。ただし、自死死亡率は全国9位と、相変わらず高位のままです。やはりなにかが欠けているからでしょう。他県にあって本県にないものは何でしょう。昨年の本誌の巻頭言にもふれておりますが、これまで本県では電話相談窓口については、2団体が夜11時までの3～4時間に対応しているのみで、悩みをかかえた方々が孤独感にさいなまれ不安、焦燥が著しくなってくる深夜・早朝は我慢してもらっているか、熊本・大分・鹿児島や東京の電話窓口相談している状況でした。

そのようなことから県精神保健福祉連絡協議会としても昨年7月27日に県知事に対し、電話相談体制の充実の要望書を提出しておりました。ところがなかなか進展しないことから、この度、6月20日に宮崎県総合保健センターで下記団体の出席の元「宮崎いのちの電話」設立準備委員会を開催し、出席団体の総意で「宮崎いのちの電話」の活動を開始することが決まりました。「いのちの電話」は昭和46年10月1日に東京で活動が開始され、現在、“日本いのちの電話連盟”には52の「いのちの電話」が加盟していて、これがないのは本県と福井県、富山県ということです。もちろん九州各県はかなり以前から活動を開始しており、沖縄が昭和51年・北九州が昭和52年・福岡が昭和59年・熊本が昭和60年・大分が昭和61年・鹿児島が昭和64年・長崎が平成6年・佐賀が平成10年ということで、本県はよくここまでできなかったものだと私を含めて関係者は反省しなければいけないと思いました。

さて、「宮崎いのちの電話」の代表には池ノ上 宮崎大学学長が就任されました。学長にはこれまで宮崎県の周産期医療の立て直し、ドクターヘリ導入を含めた本県救急医療体制の構築と県民の命を助けてもらってきました。今回、三たび、県民の“いのち”を救ってもらうことになりました。本当にありがとうございます。その他に研修部会長は石田 宮崎大学精神科教授、事業部会長は細見 宮崎県精神科診療所協会会長、運営部会長は田中 宮崎県精神科病院協会会長、事務局兼会計責任者に高宮 宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長の体制でスタートすることとなりました。これから相談員の募集、研修とすすんで、実際の電話相談事業開始は来年の9月10日を予定しております。これからこそが大変なので、皆様の御支援・御協力の程何卒宜しく願い申し上げます。

6月20日設立準備委員会出席団体：

宮崎大学、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、県弁護士会、
日本基督教団、浄土真宗本願寺派本願寺宮崎別院、県司法書士会、県社会福祉士会、
宮崎大学精神医学講座、県精神科病院協会、県精神科診療所協会、県精神保健福祉士会、
県臨床心理士会、県作業療法士会

目 次

巻 頭 言 「宮崎いのちの電話」 設立される！！

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会長 高宮 眞樹	1
-------------------------	---

第57回 宮崎県精神保健福祉大会（平成29年度開催）

「ひとりじゃない みんなに伝えたいメッセージ」	4
-------------------------	---

精神保健福祉事業功労者（平成29年度）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（個人5名、2団体）	5
------------------------------	---

表彰受賞者の声（平成29年度）

国際ビフレンダーズ宮崎自殺防止センター	（宮崎市）	8
日南市障害者憩いの間運営協議会	池田 千代子（日南市）	9
傾聴ボランティア えがお	（三股町）	10
こばやしハートム	尾崎 幸廣（小林市）	11
川南町のぞみ会	江藤 真由美（高鍋町）	12
吉田病院	甲斐 義章（延岡市）	13
株式会社千穂の家	佐藤 雅高（高千穂町）	14

第17回宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について

15

第17回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して

地域生活支援センター すみよし	16
福祉工房 ゆめたまご	17
吉田病院 デイケア	18

各地域精神保健福祉協議会の動き

宮崎地域精神保健福祉協議会	19
日南串間地域精神保健福祉協議会	20
都城北諸地域精神保健福祉協議会	21
西諸地域精神保健福祉協議会	22
西都児湯地域精神保健福祉協議会	23
日向入郷地域精神保健福祉協議会	24
延岡地域精神保健福祉協議会	25
西臼杵地域精神保健福祉協議会	26

精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会	27
一般社団法人宮崎県断酒友の会	28

障がい者の就労促進等に取り組む事業所

障害者サービスゆめや	(就労移行支援事業所)	29
特定非営利活動法人風笛 ひなこみち	(就労継続支援B型事業所)	29
社会福祉法人奨禮会 どりーむわーくす	(就労移行・就労継続B型・生活介護)	30
合同会社法人優心会 スマイルハウス	(就労継続支援B型事業所)	31
特定非営利活動法人ハッピーデイズ	(就労継続B型等事業所)	32
田中病院 浩洋ワーキングクラブ	(就労継続支援B型事業所)	33

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成29年度事業実績	34
平成30年度事業計画	35
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿	37
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿	38

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ	40
----------------------	----

第57回 宮崎県精神保健福祉大会

テーマ：「ひとりじゃない みんなに伝えたいメッセージ」

1 開催日時 平成29年11月10日（金）12：30～15：30

2 場 所 日南市南郷ハートフルセンター

3 参加人数 約500名

4 大会内容

(1) アトラクション 日南幼稚園子ども泰平踊り



(2) 式典（表彰）

宮崎県知事表彰	4名	
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰	5名	2団体
宮崎県精神科病院協会会長表彰	10名	

(3) 特別講演

講師 NPO法人ふるすあるは 細尾ちあき氏（看護師）・北野陽子氏（医師）
演題「ひとりじゃないよ～親が精神疾患をかかえた子どもたちを応援～」

(4) 体験発表

「ひとりよりふたり・・・みんなでしよう HAPPY わかちあい」
県南・スパローズ、地域活動支援センター和み、地域生活支援センターWing

(5) 展示・販売コーナー



宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（平成29年度）

氏名	住所	所属・職名(職種)	功 績 概 要
<p style="font-size: small;">とくていひえいり 特定非営利 かつどうほうじん 活動法人 こくさい 国際ビフ レ ンダーズ みやざき じさつ 宮崎自殺 ぼうし 防止セン ター</p>	宮崎 市	特定非営利 活動法人	<p>宮崎県の自殺率の高い状況を憂い、平成19年6月に県内にこれまでなかった自殺防止に特化した電話相談を有志により実施し、同年10月から特定非営利活動法人（NPO法人）として活動を開始した。現在、週4日の夜間に電話相談窓口を開設し、自殺の防止を図っている。</p> <p>また、自死遺族に対する支援として、自死遺族のわかちあいの会「ランタンのつどい」を毎月開催し、喪失感や自責の念を抱える遺族に対して、本音で話し合いのできる場の提供を行い、後追い自殺の防止に努めている。</p> <p>更に、県や各市町村等の行政機関主催の自殺防止のための研修会において、講師派遣を行うなど、宮崎県全体の自殺対策にも大きく寄与している。</p>
<p style="font-size: small;">いけだちよこ 池田千代子</p>	日南 市	日南市障害者 憩いの間 運営協議会 事務局員	<p>平成16年から日南市障害者憩いの間運営協議会に事務局員として勤務し、会計事務を担当しながら、意欲的に会の活動に参加するなど、長年に渡って家族会や会員の支援に尽力している。</p> <p>常に、精神障がい者や家族が相談しやすい環境づくりに気を配り、様々な相談に親身に応じている。その誠実な姿勢と温厚で親しみやすい人柄は、障がい者や家族が地域で安心して生活するための支えとなって、家族会を始め関係者の厚い信頼を得ている。</p> <p>また、毎年開催されている日南串間地域精神保健福祉協議会事業のレクリエーションスポーツ交流会にも運営委員として携わっている。</p>
<p style="font-size: small;">けいちよう 傾聴ボラン ティア えがお</p>	三股 町	ボランティア 団体	<p>平成24年に三股町主催の傾聴講座を受講したメンバーが集い、平成25年に傾聴ボランティア「えがお」を結成した。町内外の高齢者や障がい者、身寄りがなく閉じこもりがちな方々が人との繋がりを実感でき、少しでも心が軽くなり生きる意欲を持ってほしいという思いで、活動を開始した。</p> <p>現在、高齢者の入所・通所施設やグループホーム、精神科病院等に出向き傾聴ボランティアとして活動している。</p> <p>また、平成27年には、地域福祉センターに、地域の人達が交流できる居場所としてコミュニティ・サロン「えがお」を立ち上げ、茶話会や健康体操教室、勉強会を開催している。</p>

氏名	住所	所属・職名(職種)	功 績 概 要
おざき ゆきひろ 尾崎 幸廣	小 林 市	特定非営利 活動法人 こばやし ハートム 代表理事	<p>平成20年に地元で開催された自殺対策フォーラムへの参加を契機に、一日30人に声を掛ける運動を始めた。</p> <p>また、自殺予防活動をさらに展開するため平成22年に特定非営利活動法人（NPO法人）こばやしハートムを設立し、自殺予防フォーラムや、自殺予防週間の街頭キャンペーン、自殺予防パトロールを開始した。</p> <p>平成23年には、空き店舗を利用し、地域住民のつながりの場である「茶のん場」を開設した。</p> <p>現在、7箇所「茶のん場」の活動を中心に、自殺防止フォーラムの開催や街頭キャンペーンなどの普及啓発活動、電話相談事業、自殺防止パトロールなど幅広い活動を通して、地域に根ざした自殺予防活動に貢献している。</p>
えとうま ゆみ 江藤真由美	高 鍋 町	特定非営利 活動法人 川南町 のぞみ会 指導員	<p>平成18年に特定非営利活動法人川南町のぞみ会の前身であるのぞみ作業所の指導員となり、精神障がい者の支援に携わってきた。</p> <p>現在も同法人の地域活動支援センターで、精神障がい者と共にニラの結束作業を行いながら、具体的な指導や助言、個別の生活相談に応じている。併せて、デイケアとしてスポーツや調理実習等を行うことにより、仲間との交流や心を癒やす場の提供を行っている。</p> <p>また、川南町精神障害者家族会の研修会や交流会に賛助会員として参加するなど、精神障がい者の家族との交流も行っている。</p> <p>勤務時間外でも、利用者の話を聞き、状況に応じて役場等の相談窓口に連絡し調整する等、行政との連携も図っており、町職員からの信頼も厚い。</p>

氏名	住所	所属・職名(職種)	功 績 概 要
か い 甲斐 義章	延岡市	吉田病院 診療技術部・ 課長	<p>平成21年以降、地域連携室に勤務し、患者の相談及び社会復帰の支援活動に従事している。患者・家族はもとより病院スタッフからの信頼も厚く、行政や各関係機関とのコーディネーターとしても優れた能力を発揮している。</p> <p>また、AA等の自助グループへの支援を継続的に行っており、県北地域の精神保健福祉活動において中心的な役割を担っている。</p> <p>更に、平成28年から延岡地域で取り組んでいる「自殺未遂者支援事業」においては、関係機関との連絡調整や患者家族の相談対応、精神保健福祉士の派遣を行う等の役割を担い、家族・医療・地域を繋いだ支援体制の構築に貢献している。</p>
さ とう 佐藤 雅高	高千穂町	株式会社 千穂の家 取締役社長	<p>観光地である高千穂峡に位置する店舗経営において、自殺企図者等の見守り活動を長年にわたって継続している。</p> <p>平成22年に高千穂警察署が委嘱を開始した地域における自殺企図者の発見、保護を目的としたボランティア団体「命の架け橋見守り隊」の発足以降、その隊員として日頃から地域の見守り活動を行っている。</p> <p>平成16年、26年の2回、自殺を考えている方を発見後、警察署へ連絡し、無事に保護されるという事案があり、警察署から2度の感謝状贈呈が行われた。</p> <p>今後も、地域での見守り活動について、「自身の生活環境の中で、責任の一つとして役割を果たしたい」と考えており、地域での精神保健福祉分野の発展・充実に大きく寄与している。</p>

受賞者の声

特定非営利活動法人 国際ビフレンダーズ 宮崎自殺防止センター

この度、第57回宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長彰を頂いたことは誠にありがたく光栄に存じます。また、私達の地道な10年間の活動が評価されたことは、大変うれしく思います。

平成18年に立ち上げられた「宮崎県自殺対策研修会」の思いである、「毎年高い自殺率にある宮崎県を『どげんかせにゃいかん』』という強い信念から始まり、研修会や検討会を重ねて、民間による自殺防止に特化した電話相談を行なう、「宮崎自殺防止センター」として平成19年4月28日に設立され、同年10月1日に「特定非営利活動法人 国際ビフレンダーズ 宮崎自殺防止センター」となり現在に至っています。



「宮崎自殺防止センター」と命名した際には、「自殺防止」と言う言葉に戸惑いや相談者が困惑を感じるのではないかと懸念もありましたが、名前の通り今、自殺を考えている人にピンポイントで相談を受け、それが「死」に対して真剣に取り組んでいる団体であることを鮮明にするためにもこうした名前になりました。

「孤独には耐えられるが、孤立にはたえられない」「深夜になると静か過ぎてとてつもなく寂しく、死にたい」「生きている意味がない」「生きていることが苦しい」「息をするのもしんどい」と「死」を考えることは、生を考えることでもあり、電話相談者はそうした「死にたいほど、つらい苦しみや悩み」を抱えた方に、そっと寄り添っていくことを最大限にこころの叫びを聴かせて頂いています。

この10年間での電話相談（日・月・水・金曜日20時から23時）は約15,918件（男性8,472名 女性7,446名）です。電話相談を終えた後に、感じることは「今の電話で良かったんだろうか」との自責の念にさいなまれることもあります。が、「宮崎自殺防止センター」の問題として相談員みんなの問題を分かち合い、いつも気持ちをニュートラルにして電話相談に臨んでいます。

また、大切な方を自死で亡くされた遺族の方への対応や支援を行なっています。ランタンの灯りのようなあたたかく安心できる場で、大切な方の思い出を語り懐かしみ、遺された悲しみやつらさを聴いて、互いに支え合うことで、穏やかな気持ちとなり、「これからの」自分と見つめ合っていくつどいとなっています。こうした「ランタンのつどい」を毎月第二土曜日に開催してきました。

これからも、こうした自殺防止の活動や啓発を押し進め、自殺のない宮崎、自殺のない世界になっていけばと考えながら歩んでいきたいと思えます。

受賞者の声


日南市障害者憩いの間運営協議会 事務局員 池田 千代子（日南市）

この度は、第57回宮崎県精神保健福祉大会において、精神保健福祉事業功労者表彰をいただき光栄に存じます。


私が日南市障害者憩いの間運営協議会（身体・知的・精神）に在席しまして15年余り、それぞれの団体のお世話をさせていただいて参りました。当所一人での事務局員ということで、どのように携わっているのか解らず、とまどいながらも笑顔で話をし、傾聴することでコミュニケーションがとれるようになり、会員さんから励まされることも多々ありました。

これほど長い間在席させていただいていることも各団体の皆様のお陰だと感謝しております。今後も少しでもお役に立てるよう、励んでいきたいと思っております。





受賞者の声



傾聴ボランティア「えがお」 津曲 香代子

第57回宮崎県精神保健福祉大会におきまして表彰をいただきありがとうございました。

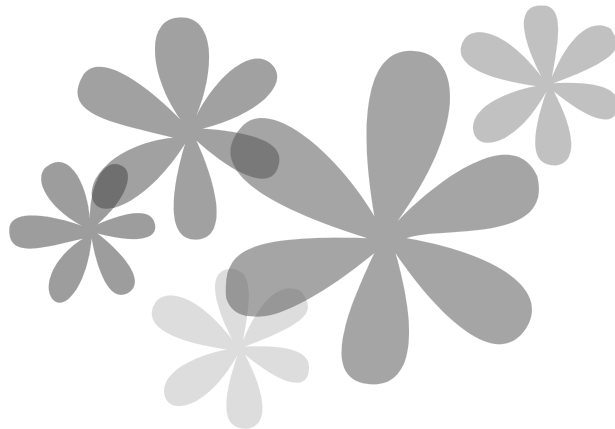
傾聴ボランティア「えがお」は、平成25年6月7日に町の傾聴講座を修了した7名のメンバーで立ち上げ、5年を経過し、平成30年5月25日で166回の実践活動をしています。

主に町内の老人施設、グループホーム、大悟病院を月に1回訪問しています。高齢者の居場所として、「サロン」も開所しており、高齢者や認知症、子育て中のママさんなど、おしゃべりをしながら傾聴しています。

傾聴とは、ひたすら聞き上手になり、話されたことを解決するのではなく、あくまでも話に耳を傾け、相槌を打ち、頷き、聞き役に徹します。相手の気持ちをきちんと受け止め、優しい言葉で返してあげると、相手もこちらの気持ちを受け止め、素直な優しい言葉を投げ返してくれます。優しい気持ちのやりとりは見えないキャッチボールのようで、和やかな良い人間関係が築かれていきます。

ある一人のおばあちゃんは胸に手を当て、「一つだけ言えないことがあつとよ。そんなことは誰にも言えんとよ。あの世まで持って行くとよ。」「うーん。」と沈黙。「そうね。誰にも言えない過去があったんだね。」と、顔を見て相槌を打ち頷く。誰にも言えないで長い間、一人で口をつぐまれている姿がなんとも痛ましく、気の毒に思えてなりませんでした。私たちはあくまでも聞き役なのだから、雑談の中にも重要な要素が潜んでいるかもしれないので、コミュニケーションを大事にしながら少しでもこころの隙間を埋めてあげて、笑顔になってもらい、心の支えになっているという実感を持ってもらえれば嬉しく思います。

傾聴ボランティアとは、本人の気持ちを尊重し、傾聴に関する活動を行うことにより、地域の高齢者、認知症の人たちの話を聴かせてもらい、辛かった話に頷き、嬉しかった話に共感し、話に花を咲かせ、一緒に楽しいひとときを過ごすことの出来るボランティア活動です。



受賞者の声

NPO法人こばやしハートム代表理事 尾崎 幸廣（小林市）

この度は、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、誠にありがとうございます。大変光栄なことでございまして厚く感謝申し上げます。

私たち「NPO法人こばやしハートム」には現在30名の会員がおりまして、自殺防止のための活動を行っております。

当初は、できるだけたくさんの人と話すため「1日30人と話そう会」という会をつくり、会員がそれぞれ毎日30人の人に話しかけることを実践してまいりました。

その活動の中で気づいたことは「もう1週間も人と話をしていない」「家族というが話をすることがない」「そもそも話をする場所がない」との声が多いことでした。

それだったら「話す場所を作ろうじゃないか」という発想で「茶飲ん場」というふれあいの居場所づくりを始めました。

現在、その「茶飲ん場」は市内8か所に広がっております。

そしてこの茶飲ん場で「ゆるいつながり」を合言葉に、お話や愚痴を聞いたり、おせっかいをしたりしております。

おかげで利用者の皆様には「自分のペースで過ごせるので居心地がいい」と好評であります。

それがどう自殺防止につながっているかは実証できておりませんが、お年寄りの憩いの場になっていることは確かなようです。

ただ、自殺率の高い若い人達の利用が少なく、その点をどうするかが今後の課題となっております。

若い人が悩みを気軽に相談できる場所を設けることが出来るよう、皆で知恵を出し合っていきたいと思っております。



受賞者の声

NPO法人川南町のぞみ会指導員 江藤 真由美

『のぞみ作業所』『のぞみ会』この作業所で指導員として働くようになり、11年という月日が過ぎました。この間、色んな出来事が有りました。

専門的な事は解らず、利用者の方々の顔色・体調を見守る事から始まり、“精神障がい”利用者、それぞれの症状も違い、生活環境も違い、悩み相談、内容も違い理解に苦しむ事ばかりでした。相談を受ける事で一緒に笑ったり、泣いたり話しの理解に悩み、注意しても、注意しても聞いてもらえず、受け入れてもらえず、怒りがこみ上げ苦しむ事もありました。

でも、今振り返ると、利用者の方々と過ごして来た日々のおかげで、今回このような素晴らしい賞を頂く事が出来たので感謝しております。

今迄支えて下さった皆様、利用者の方々への感謝を忘れず、これから先も『のぞみ会』の作業所の指導員として努力して行きます。ありがとう御座いました。



受賞者の声

吉田病院診療技術部・課長 甲斐 義章（延岡市）



この度は、第57回宮崎県精神保健福祉大会におきまして、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき光栄に存じます。私は、延岡市内の精神科（吉田病院）に勤務しております。

精神科を中心とした医学の領域でも、自殺の原因分析がすすめられており、WHO（世界保健機関）が実施した調査によると、自殺に及ぶ前に約95%の人は何らかの精神疾患に該当する状態であったといわれています。具体的には、躁病やうつ病などが30%と最も多く、アルコール依存症や覚せい剤による精神疾患などが18%、統合失調症が14%と続きます。

WHOの「自殺予防マニュアル」によると、自殺既遂者の9割が精神疾患を持ち、6割がその際に抑うつ状態であったと推定されるということです。日本では、高度救命救急センター搬送の自殺未遂者の8割以上に精神疾患が認められたそうです。このような状況にありながらも、適切な治療を受けていた人は約2割。仮にこれらの悩みを抱えた人を早く見つけて適切な治療を施せば、自殺率は3割以上減少できるといわれています。

延岡保健所の設置する延岡地域自殺対策協議会において関係機関が延岡市内の自殺未遂者の現状を共有すること、精神科対応が必要な自殺未遂者を適切な精神科医療に繋げ、再発を防止すること等に取り組んでいます。私は、平成23年に延岡地域自殺対策協議会へ出席してから、延岡市の自殺対応の現状や関係機関を知ることになりました。平成25年には、同保健所による自殺予防サポートネットワーク体制づくりへの協力。平成27年度からは、県の補助事業で延岡市医師会が委託を受け、自殺未遂者支援事業を行っております。これは、救急告示病院を受診した自殺未遂者を、患者さんの同意を得て精神保健福祉士等を派遣し、患者さんをサポートし、精神科専門医療機関に繋いでいく事業です。この事業を行うにあたって実務者会議や視察、研修会などを実施し、対応能力の向上を実施してきました。これによって、初の「延岡地域における自殺未遂者支援の手引き」を発刊することができました。このような場にいろいろな職種の方が集うことは大変よい機会だと思います。自殺に対して多くの職種の人たちが協力し、自分たちが向き合っている事例や問題点を話し合い共有することで、皆が一生懸命考えていることが分かれば、自分の役割というものを持てたり、協力性もわいてくるのだらうと思います。このようなことに幾分か貢献できたかなと思っています。

受賞者の声

株式会社千穂の家 取締役社長 佐藤 雅高（高千穂町）

この度は、光栄にも宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を賜りまして大変恐縮いたしております。

当西臼杵地区は溪谷の切り立った中山間地域ですので高い橋梁が多く点在しており、悲しいかな、投身自殺を凶られる方が後を絶ちませんでした。

その様な折り、平成22年5月に高千穂警察署署長主導のもと橋梁周辺の事業所や域内を往来するタクシー会社等々で構成される「命の架け橋見守り隊（あたたかい風）」が組織され、私もその一員として委嘱を受け末席に加えて頂いた訳ですが、同地区で日々生活をさせて頂く者の務めとして当然の事のように見守り活動に参加させていただきました。

当社は、観光サービス業を営んでおり、常に周囲のお客様への目配り、気配りが重要でありますので、この様な見守り活動には打って付けだったのかもわかりません。

これまでに橋梁上での投身を考えていた方の保護や、遺書を残し捜索願の出された方の保護等に関し微力ながら協力出来ました事が今回の表彰に繋がったのだと思います。

これは、日頃の地元警察署との良好なコミュニケーションのお蔭で通報への戸惑いが無かった事や、社内朝礼での情報を社員が我が事として捉え、全員で見守り活動に努めてくれた事等が大きな要因だと考えています。

この活動は、地域の安全はもとより地域の明るいイメージを守る事にも繋がると考えておりますし、何より「尊い人命を救う事が出来た！」という事実は当社社員の心にも響いたようで、日々、社員上げて見守り活動を続けているところであります。

今後の継続は勿論、より広く伝え、地域全体での活動となればと願っております。

この度は本当に有難うございました。



第17回宮崎県障がい者スポーツ大会報告

第17回宮崎県障がい者スポーツ大会は、県内各地より1,514名の選手が参加して開催されました。

障がい者スポーツの祭典であるこの大会は、スポーツを通じて障がい者相互の交流を図り、障がい者の社会参加を推進するとともに、県民の障がいに対する理解を深めることを目的としています。

選手の全力プレーや応援する家族や友人の姿を通して、スポーツの素晴らしさを感じるすばらしい大会でした。

参加して頂いた選手や役員の皆様、本当にありがとうございました。

- [期日] 平成30年5月13日(日)
- [場所] 宮崎県総合運動公園他
- [選手] 1,514人　うち精神障がいの方297人
 - ・ バレーボール　　　　　2チーム　　17人
 - ・ ミニバレーボール　　　9チーム　　72人
 - ・ グラウンド・ゴルフ　　32チーム　198人
 - ・ 卓球　　　　　　　　　　10人

- [結果]

バレーボール	優勝	江南よしみフェニックスAチーム	(宮崎市)
	第2位	江南よしみフェニックスBチーム	(宮崎市)
ミニバレーボール	優勝	1パート	谷口病院オーシャンズ (日南市)
		2パート	野崎病院「虹の丘」A (宮崎市)
		3パート	やすらぎA (日向市)
グラウンド・ゴルフ	優勝	Aコース	つきどん (西都市)
		Bコース	芽立ちの会Aチーム (串間市)
		Cコース	野崎病院「虹の丘」A (宮崎市)
卓球	優勝	男子青年の部	川崎 修平 (延岡市)
		男子壮年の部	水戸 春海 (延岡市)

※ バレーボール大会で優勝した江南よしみフェニックスAチームは、第19回全国障害者スポーツ大会(平成31年度:茨城県)の九州ブロック地区予選に出場予定。



[バレーボール]



[グラウンド・ゴルフ]



[卓球]

第17回宮崎県障がい者スポーツ大会（グラウンドゴルフの部）
 社会福祉法人清樹会 地域生活支援センターすみよし（宮崎市）

平成30年5月13日に県障がい者スポーツ大会が行われ、グラウンドゴルフの部に参加してきました。大会に参加するのは、今年度で9回目となります。

今回も、チームの枠を超えて、声を掛け合いながら、応援し合いながら、競技を楽しめる時間となりました。

大会に向けて、年数回グラウンドゴルフを実施しています。練習や大会本番で、さまざまな人と知り合ったり、喜びや楽しさを共有できる場面が沢山あります。今後の大会参加に向けて、練習を重ねていきます！！

毎年参加するのが楽しみです！年齢、経験問わず、皆さんで楽しく取り組めるのがグラウンドゴルフの楽しさです。新たな人の輪が出来、良いリフレッシュにもなります。来年度の大会も、頑張ります！！

はじめてのグラウンドゴルフでした。周りの人から応援やアドバイスがあり、上手く打つことが出来ました！

ホールインワンを取りました！！
 賞もいただき、嬉しかったです。



いろんなところから応援があって賑やかでした。



みんなで楽しめました！
 また大会に参加したいです。

日ごろの練習の成果を出しました。
 くやしい場面もあったけど、皆さんで笑って楽しめました。



美郷町・福祉工房ゆめたまご グランドゴルフ大奮闘!



ねらってねらって!!
慎重に!



来年もがんばります★

疲れたけど楽しかった



なるか!!2連覇?

☆2年連続で入賞、昨年はパート優勝と波に乗る、美郷町・ゆめたまごチーム。
今年はどうなるのか?
上位を狙う「Aチーム」、ホールインワンを狙う「Bチーム」の2チームで挑みましたが・・・
結果、期待でワクワクしすぎてちょっと調子がでなかったのか?入賞を逃してしまいました。残念!
それでも熱く、楽しく、燃えました。
丁寧に指導、支援してくださった大会関係の皆様お世話になりました。



ホールインワンをめざして・・・

ナイスショット

第17回 宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して
❖吉田病院デイケア フレッシュハート（延岡市）❖

平成30年5月13日（日）第17回宮崎県障がい者スポーツ大会が開催されました。
吉田病院精神デイケアフレッシュハートからは、グランドゴルフの部に5名、
ミニバレーの部に6名 卓球の部に4名参加しました。

～参加者の感想～

試合は緊張しました。みんな頑張って楽しかったです。お疲れ様でした。

日頃の練習の成果が出てよかったです。



開催場所が違って行われましたが、参加者、職員一同、笑顔で大会に参加できていました。
この日のために、毎日練習を行い、日頃の成果を発揮して良い成績に繋がりました。
課題は残りますが、来年の大会には多くの参加者が参加できるように願っています。



試合は緊張しました。みんな頑張ってすごいなあと感じました。
皆様、お疲れ様でした。

怪我もなく試合を終えて良かったです。
来年こそは優勝を目指します。

試合を見て、応援して、楽しかったです。
元気になってバレーをしたいです。

試合をして負けましたが、楽しかったです。
最後まであきらめないで試合をして楽しかったです。

日頃もっと練習する必要があると感じました。来年こそは試合には勝ちます。

宮崎地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市及び東諸県郡における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【こころの健康づくり講演会】

期 日：平成30年2月23日（金）

場 所：宮崎県総合保健センター 大研修室

参加者：47名

内 容：講演「本当の開放医療を目指して
～地域で当たり前になる方らしく～」

講師 医療法人稲門会 いわくら病院
精神科医 崔 秀賢 氏



精神科医師として約半世紀にわたり、地域に根ざした開放医療の実現に向けて取り組んでこられた歴史についてお話いただきました。

講演の中では、開放医療に取り組始めた当初は、病院から外出をした患者さんが起こした行動に対して苦情が寄せられることが多くあったが、辛抱強く話し合いを続ける中で住民が地域に患者さんがいることに「慣れ」、患者さんも岩倉の住人として「慣れ」、共に歩いていく姿を事例をもとにご紹介いただき、患者さんとの信頼関係が基盤となった支援や同じ1人の人間として患者さんと向き合っていくことの大切さを学ぶ機会となりました。

参加者からは、「“人”と接するときの大切なものを学んだ。」「開放医療のためには、地域の理解が必要。もっと理解したい。」「支援における考え方が変わる思いがした。」といった感想が多く寄せられました。

【宮崎市内精神科病院球技大会】

期 日：平成29年6月7日（水）

場 所：生目の杜運動公園 はんぴドーム

参加チーム：20チーム（179名）

高宮病院・野崎病院・井上病院
宮崎若久病院・古賀総合病院

内 容：グラウンドゴルフ



大会運営に係る費用の助成を行っています。

【協議会だより「ゆとり」発行】

精神保健福祉に関する情報提供と、協議会の活動を中心に編集した、宮崎地域精神保健福祉協議会だより『ゆとり第22号』を発行しました。

日南串間地域精神保健福祉協議会

当協議会は日南市、串間市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【ピアスタッフによる体験発表】

平成29年11月10日に日南市で開催された「第57回精神保健福祉大会」において、平成28年度に誕生したピアサポートグループ「県南・スパローズ」が体験発表を行いました。「ひとりよりふたり・・・みんなでしょう HAPPY わかちあい」というテーマのもと、結成の経緯と活動内容の紹介とともに、「幸せを感じる時」を題材に壇上で模擬ピアを実施しました。会場とのやりとりもあり、終始和やかな雰囲気で行われました。

～ 県南・スパローズ メンバーの声 ～

はじめての大舞台ということもあり、今まで以上に緊張しました。会場の皆さんとアイスブレイキングゲームをし、「幸せを感じる時」というテーマで、分かち合いをしました。スパローズを知っていただく大変貴重な機会になりました。こうして活動できているのは、これまで多くの方々に協力いただいたからだと感じました。

ありがとうございました。



～ 参加された方々の声 ～

- ・ 何より皆さんの笑顔を見られて幸せを感じました。
- ・ 当事者の方々が活躍されている姿を見ることができて、うれしい気持ちになりました。
- ・ ピア活動の活躍を期待します、刺激を受けました。

【協議会だより「潮騒」の発行】

平成30年3月に、日南串間地域精神保健福祉協議会だより「潮騒」を発行しました。

昨年度、日南で開催されました第57回精神保健福祉大会の様子や精神保健福祉事業功労者表彰、ピアサポートグループ「県南スパローズ」の活動紹介を掲載しています。

都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、家族会等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し、講演会や普及啓発イベントの企画、協議会だよりの発行を行っています。

【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成29年11月11日（土）午後1時30分～3時

場 所：都城保健所 多目的室

参加者：27名（一般、事業所職員、民生委員児童委員等）

内 容：①講演「ピアサポーターって何だろう？」

～星空の都地域活動支援センターでの活動を通じて～

講師：星空の都地域活動支援センター センター長 稲森弘子氏

②体験発表

③グループワーク

稲森氏の講演では、ピアとは何かを中心にリカバリーやピアサポートについて理解を深め、ピアサポーターの役割や重要性、活動内容について教わりました。体験発表では、3名のピアサポーターからご自身の体験と現在の活動についてお話しいただきました。精神障がい者に対する理解を広めていくためには、ピアの役割も大きいと考え、今後も協働して、活動していけるよう考えていきたいと感じました。



【ふれあいニューススポーツ大会】

日 時：平成29年9月30日（土）午後1時～3時

場 所：都城市勤労青少年体育センター

参加者：113名（当事者、一般、ボランティア等）

内 容：卓球バレー、輪投げ、ミニボーリング、風船バレーのニュースポーツを楽しみました。初対面の方ばかりでしたが、スポーツを通して交流を深めることができ、有意義な大会でした。



ミニボーリング



風船バレー



卓球バレー

【協議会だよりの「オアシス」の発行】

平成30年3月に協議会だよりの「オアシス」を発行しました。「突撃！地元の事業所さん」と題して、まーる工房の紹介等を掲載しています。

西諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進と地域における精神保健の向上を図ることを目的に活動しています。

【西諸地域ピア交流会&地域移行支援研修会】

期 日：平成29年10月2日（月）

内 容：○ピア交流会

参加団体：和み（日南市）、W i n g（串間市）
ゆるいとタウンとんでーの（小林市）

○地域移行支援研修会

講演「地域移行支援・地域定着支援の実際～精神障がい者の事例を通して～」

講師 地域生活支援センターすみよし 山口麻衣子 氏

体験発表 ピアサポートグループ 県南・スパローズ



【西諸地域精神障がい家族交流会】

期 日：平成29年11月7日（火）

内 容：家族交流会を開催し、家族同士で悩みや心配事をお互いに話し合うことで、思いに共感したり、情報交換したりする場となりました。

【西諸地域精神障がい者文化交流会「こすもす祭」】

期 日：平成29年11月1日（水）

場 所：えびの市文化センター

参加者数：約300名

内 容：〈ステージの部〉

○ミニライブ ○当事者、家族による体験発表 ○福祉サービス事業所紹介

○講演「精神障がいを理解するために」

講師 特定医療法人浩然会 内村病院 中山 佑 先生

〈交流の部〉

○当事者会コーヒーサービス ○地域家族会バザー ○作品展示 ○自由書道

○福祉作業所による販売 ○笑いヨガ ○写真立て作り ○ネイチャーゲーム

精神障がいへの理解と関心を深めていただくことを目的に、“こすもす祭”を開催しました。参加者からは、「当事者の体験談を聞き、こんなにも回復するのかと嬉しく思った」「家族が病気を受け入れるまでの経緯や困難さがよく分かった」との感想が寄せられました。



【西諸地域社会資源見学会】

期 日：平成30年3月23日（金）

内 容：精神科病院看護師等が地域の社会資源を見学しました。「地域で支援されている方の思いを知ることができた」「退院支援に活かしていきたい」等の感想がありました。



【協議会だより「ときめき」の発行】

平成30年3月に協議会だより「ときめき」を発行し、会員や関係機関等に配布しました。

西都児湯地域精神保健福祉協議会

西都児湯地域精神保健福祉協議会では、西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に様々な事業を行っています。

【レクリエーション交流会】

日 程：平成 29 年 11 月 17 日

場 所：高鍋町総合体育館

参加数：86 名

内 容：カローリング

ベンチサッカー

初めてのルールに戸惑いながらも、あちこちで歓声の上がる交流会になりました。



【アルコール依存症を理解する研修会】

日 程：平成 29 年 12 月 21 日

場 所：高鍋保健所

参加数：35 名

内 容：(1) 講 演 アルコール依存症の理解と対応
～HAPPYプログラムを中心に～
講 師 谷口病院 医師 比江島 誠人 氏
(2) 体験発表 「依存症からの回復」
セルフヘルプグループAA
(アルコール・アノマス) メンバー



講師からは、HAPPYプログラムを中心に、予防のための基礎知識や早期に発見するスクリーニングテスト、援助者の対応の仕方について丁寧にお話いただきました。

当事者の体験発表では「酒を止めてからがむしろ大変。酒でごまかしてきた人間関係のつらさが見えてくる。そのきつきに向き合う上で自助グループが必要。」と専門家にはできない役割も紹介されました。

参加者からは「回復へつながらないことへの不安も多く、時間がかかることもあるが、関わりを持っていきたい」などの感想が聞かれ、有意義な時間となりました。

【出前講座】

● テーマ「精神障がい者の理解と対応について」

① 平成 29 年 8 月 17 日 ケアホームみなみ

② 平成 29 年 8 月 29 日 清風園

● テーマ「当事者からのメッセージ」

③ 平成 29 年 11 月 22 日 高鍋町精神保健福祉ボランティア養成講座



【協議会だより「心と心のたより」の発行】

平成 30 年 3 月に協議会だより「心と心のたより」を発行しました。

精神保健福祉事業功労者表彰の様子や地元の事業所の活動紹介を掲載しています。

日向入郷地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村内の24の関係団体と95人の賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【さわやか交流会】

期 日：平成29年9月15日（金）

場 所：サンドーム日向

内 容：第13回玉入れ大会
第4回ホールインワン大会

参加者：121名

（医療機関、市町村デイケア等）



台風18号接近の影響が心配されましたが、鮫島会長の声高らかな「エイエイオー!!」のかけ声と、当事者の堂々とした選手宣誓で第24回目の交流会が無事に幕を開けました。

恒例となった玉入れとホールインワン大会で楽しい時間を過ごしました。

玉入れは、10チームで2回の合計タイムを競いました。優勝したレッドフラワーチームは、100個の玉を45秒で入れ、他チームを圧倒するタイムで優勝を勝ち取りました。

ホールインワン大会では、練習なしの2本勝負ルールで、見事6名の方が、ホールインワンを獲得しました。

【地域家族交流研修会】

期 日：平成30年2月6日（火）

場 所：あいとぴあ（日向市上町）

内 容：交流会

アロマミニ講話・ハンドマッサージ体験

講師：アロマコーディネーター 黒木 恵 氏



交流会では、お茶とお菓子をいただきながら、家族同士でなければ話せない思いが話され、体験の共有や情報交換等が行われました。

交流会の後は、アロマミニ講話とラベンダーを使用したハンドマッサージ体験を行いました。

ハンドマッサージでは、ラベンダーの香りを楽しみながらリラックスし、心地よい体験を喜ぶ姿が印象的でした。

【こころの健康づくり講演会】

期 日：平成29年10月24日（火）

場 所：日向市総合福祉センター

演 題：「地域で取り組むこころの健康

～うつ病とアルコール問題について」

講師：鮫島 哲郎 先生（鮫島病院 理事長）



地域住民にとって身近な相談窓口である民生委員を対象に日向市民生委員協議会との共催で、アルコールやうつ病に関する知識の普及啓発を目的に「こころの健康づくり講演会」を開催しました。

講演の中で、自殺の現状や、うつ病とアルコール問題への薬物治療や対応方法についてわかりやすく話され、対応に悩んだ時に専門家に相談することや、生活リズムを見直すことの重要性についても話されました。参加者からは、「規則正しい生活が大事なことがわかった。」「アルコールとうつが非常に関連があり、自殺につながるということがわかった。」「当事者との関わり方が理解できた。」「地域の当事者の方を家族とともに支えて行きたい。」「アルコールの飲酒の仕方も広めて行きたい。」等の感想が寄せられました。

延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的にさまざまな事業を行っています。

【延岡ハートフルスポーツ大会】

期 日：平成29年11月2日（木）

場 所：延岡勤労者体育センター、妙田緑地

参加者：153名

内 容：ミニバレーとグラウンドゴルフを楽しみました。

各チームが練習の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。



【こころのコンサート】

期 日：平成29年12月20日（水）

場 所：カルチャープラザのべおかハーモニーホール

参加者：166名

内 容：7団体からのエントリーがあり、歌やダンス、演奏などを披露し、会場が盛り上がりました。

【ピアサポーター研修会】

期 日：平成30年2月2日（木）

参加者：24名

講 義：ピアサポートについて

講 師：九州保健福祉大学 社会福祉学部 講師 黒須依子氏

報 告：ピアサポーター活動について

報告者：地域活動支援センターみなと、ピアサポートさくらの会



【こころの健康づくり講演会】

期 日：平成30年3月10日（土）

参加者：117名

内 容：こころ元気に生きる

～ストレスと上手につきあうために～

講 師：こころ元気研究所 所長 鎌田 敏 氏

【こころの広場】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供を目的として、こころの広場第33号を発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

西臼杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、団体会員、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

【西臼杵郡障がい者スポーツ大会】

期 日：平成29年10月30日

場 所：高千穂町武道館

競技種目：

アキュラシー、カローリング、徒競走、
じゃんけんピック、風船リレー、
玉入れ、団対抗リレー

作業所や支援学校などから、120名の参加がありました。

競技に参加する方や応援をする方、それぞれとても盛り上がり、終了時には「また来年に向けて頑張りたい」という声が聞かれました。



【家族のつどい】

国見ヶ丘病院及び管内3町と合同で、精神障がい者の家族が抱えている気持ちを表現する場や家族同士の交流を深める場、病気を理解する場を作ることを目的として開催しています。

平成29年度は2回開催し、6名の家族が参加されました。

<テーマ>

- 1回目 回復力を高める家族のコミュニケーション
- 2回目 アルコールについて（AA体験者との交流）

【普及啓発活動】



アルコール関連問題啓発週間に合わせて、高千穂警察署と合同で、チラシの配布など啓発活動を行いました。

- 1回目 高千穂町役場
- 2回目 西臼杵広域行政事務組合消防本部



【協議会だより「精神保健福祉 たかちほ」の発行】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供、啓発を目的として、年1回広報誌を発行し、管内全世帯及び会員、関係機関等に配布しました。

『みやせいれん』 定期総会を終えて

特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会

理事長 立本 久子

平成30年度宮崎県精神福祉連合会総会を5月26日（土）宮崎市総合福祉センターにて、宮崎県精神保健福祉センター所長 直野慶子様、宮崎県福祉保健部障がい福祉課長 矢野慶子様のご臨席のもと定期総会を開催できましたことを、心より感謝申し上げます。

総会において、29年度活動事業報告・決算報告及び30年度の事業活動計画・予算書等の第1号議案から第4号議案に至るまで、厳粛かつ慎重に審議が行われ、すべてが原案どおり議決承認されました。

午後からは、研修会で、『精神医療保険福祉等に関する施策について』と題して、宮崎県障がい福祉課 副主幹 蛭原夕起子 様の講演、その後質疑応答があり、活発な意見・質問等が出て、非常に有意義な一時を過ごすことができました。

精神障害者に対する差別と偏見の除去

“周囲の目・社会の偏見”この世では、まだまだ『心の問題』が山積しています。その中には解決困難な問題もあります。そこで、会員の皆様の質の向上に努め差別と偏見を払拭する強い心を身につけるため家族会等で微力であってもお互いに分かち合い（語り合い・支え合い）・学び合って社会全体の問題として取り組んでいきたいと思えます。

精神障害者家族の真の人生のあり方を考え確実に活動を続けて参りたいと思えます。

皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



そもそも依存するとは

一般社団法人宮崎県断酒友の会 理事長 川越 晋作

平成30年4月より、私共、宮崎県断酒友の会は一般社団法人として活動をより強化して世間一般に広く知られるよう、アルコール依存症で苦しむ方々の手助けをする自助グループとしての役割を担っていかうとしております。

しかし、その前に依存するとは人間にとって、何なのか、正常な依存、病気としての依存、定義は何なのでしょう。広義の解釈としては、人間が生きて行くためには食事をし、睡眠をとる。身体を維持する最低限の生理的欲求は、ほぼ毎日行われていることなのですが、食事、睡眠に依存しているとは、誰も言わないし、考えもしない。

では、何故これほどまでに、社会的に問題化した現在の依存症という問題、アルコール依存症、ギャンブル依存症、薬物依存症、スマホゲーム依存症、はたまた、一般的にはあまり知られていないセックス依存症、買い物依存症などがあります。

病気と言われる依存の共通性は何か、依存症そのものが人間の脳に喜びとして極端に作用する、一時的なドーパミンの大量分泌が快樂をもたらす。

その喜び、快樂は誰でも簡単に一度は経験したはずであるが、その快樂の行為を継続的に求めなければ、人間の社会生活にまで、あるいは、精神に異常をきたす一部の人達がいる。そうなった状態が、病気としての依存症だろうと私は考えております。

もちろん、会社、学校、家庭、地域にも迷惑がかかります。でも、一度、病的依存になるとなかなか、自分からは、依存症とは認めたがりません。いわゆる否認です。これがあらゆる依存症に共通する特徴です。専門病院の治療に繋がり難いところであり、専門医師の不足による、専門外の医師（特に内科医）の間違ったアドバイスによる患者の甘えが助長される結果となっていると思われます。

代表的な薬物依存症は、法律で規定されているし、社会的に罰せられる。アルコール依存症とギャンブル依存症は、使用に際して年齢制限があるだけであります。一般社会生活の中では野放し状態です。薬物が法規制の対象であるのは、自分の体、他人に対する被害の度合いが異常だからです。アルコールは異常な飲み方によって体を壊すこともあります。その他の行為（飲酒運転、借金、喧嘩、殺人）によって法的に罰せられるに過ぎません。適度にアルコールやギャンブルを楽しむ方が多い世の中では法的に規制する訳にはゆきません。アルコール産業（ビール、酒、焼酎、ワイン、ウイスキー）の生産から販売、全国の飲み屋街の多さ、シェアの広さを考えると、パチンコに代表されるギャンブル、双方の産業に携わる人々の生活を考えると、規制はできません。それぞれの売り上げ、国の税収、しいては経済に与える影響を考えると。

が、しかし、アルコール依存症者、全国で109万人、ギャンブル依存症者推計500万人以上、双方の患者の中で専門病院で治療を受けているのは、わずか、5万人であるという現実を知っていただきたいと思ひます。

わが、一般社団法人宮崎県断酒会友の会としては、例会（患者本人、家族がアルコールで困っていることを話す場所）参加、研修会、セミナー開催を通して、なるべく早く専門病院につなげるように、その後、退院した暁には以下に断酒継続に向けて頑張っていくか、会員みんなの協力の下、お手伝いをさせていただきたいと思ひます。

なお、例会は宮崎県内9会場毎週開催しております。

アルコール依存症患者になってからとって、その後の対応を間違わなければ、悲惨な人生が待っているわけではありません。アルコールを断つ苦しみより、健康のありがたさ、素面での本音の会話、こんなにも人生を語る頭の回転の良さに、びっくりします。

一緒にがんばりましょう。



障害者サービスゆめや（就労移行支援事業所）は、パン、クッキーの製造、販売を実践的に行い、就職に必要な知識や技能を習得する訓練をとおして就労を目指しています。

ゆめや
電話 / Fax
0987-23-1390

ホームワーク
タイヨー

日南市役所

ゆめや
UNI K'S
QLO デン

コスモス

日南市大字星倉154-3



40種類のパンを販売しています



障害者サービスゆめやの情報は
<http://www.miyazaki-cci.net/yumeya/>

特定非営利活動法人 **風笛**
就労継続支援事業 B型
ひなこみち



◇直売所事業◇

地元の新鮮な野菜や加工品・工芸品をはじめ、旬の品物を販売（レジ・接客や陳列など）。



◇清掃事業◇

ご家庭や老人福祉施設のお掃除、庭の除草作業や簡単な剪定作業など。



◇地域とのつながりを大切に◇

買物難民地区への定期的な移動販売、月1回の土曜日での鶏もち炭焼き、夏季のかき氷、年末年始の餅つき、地域イベントでの販売など。



◇委託事業◇

地元の企業さんや農家さんの作業場に直接出向いて箱組立や、農作物の植え方・収穫作業など。

◇私たちは『つながる』支援をおこないます◇

- ①「仕事」でつながる支援…働く事とおして成長し続け、働く事とおして地域貢献ができる支援をします。
- ②「地域」とつながる支援…社会の一員として共に尊重しあい、地域で生活する楽しさを実感できる支援をします。
- ③「夢」がにつながる支援…ひとりひとりの意思を尊重し、目標に向かって様々な事にチャレンジできる支援をします。

〒889-2541
宮崎県日南市
吾田東7丁目1-3
☎0987 (22) 4411



社会福祉法人
奨励会

障害者自立支援センター

どりーむわーくす



初めまして！どりーむわーくすは都城市乙房町にあり、事業所からは遠く霧島山を望む見晴らしの良い高台にあります。周りには広大な畑が広がり大変自然豊かな環境にあります。

多機能型事業所(就労移行・就労継続B型・生活介護)を運営しており1日50名ほどの方が通所して頂いております。随時見学を受け付けておりますのでお近くにお越しの際にはお気軽にお立ち寄りください！

就労移行支援事業

・定員6名(就労実績は平成20年～平成29年にかけて合計42名の方が就労しており一般企業で活躍されています！)

就労継続支援B型事業

・定員15名(平成29年度の工賃実績は23506円で農作業、陶芸、菌床椎茸の栽培、委託作業等を皆さんやりがいを持って取り組んで頂いております！)

生活介護事業

・定員19名(数々のレクリエーション等の活動を通して毎日利用者が楽しく安全に過ごして頂く事をモットーに職員一同取り組んでおります！)



陶芸



農作業



菌床椎茸



雑貨・小物(生活介護)

お問い合わせ

〒885-0112 宮崎県都城市乙房町2372番地1

TEL0986-45-4110 FAX0986-37-3820

合同会社法人・優心会

就労継続支援 B 型福祉サービス事業所

スマイルハウス

【スマイルハウスの紹介】

就労継続支援 B 型福祉サービス事業所スマイルハウスは、平成 29 年 10 月に小林市野尻町に開設したばかりの B 型福祉サービス事業所です。障がい者の方々が、仕事を通して自立した生活を目指せるように支援し、働くうえで必要な人間関係づくりがスムーズに出来るようになる為に、認定講師による SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)も行っています。

「みんな違って、みんないい」を理念に障がいのある方々の仕事とその人らしい生活のバランスが取れた自立を支援して行きます。



【施設概要】

- 住所 : 小林市野尻町東麓 1052-2
- 利用日 : 月～金曜日(土曜日は休み) 休日イベント参加時は、出勤有
- 利用時間 : 9:30～15:00(4時間)
- 利用定員 : 20名
- ☎でんわ : 0984-47-4865

【作業内容】

一閑張り工芸業務



地域活動業務



弁当パック詰め業務



ALL FOR ONE・ONE FOR ALL

一人はみんなのために・みんなは一人のために

特定非営利活動法人 ハッピーデイズ

人と人がつながるところ こころの駅ハッピーパーク



共同生活援助事業

男性グループホーム(青空、太陽)
女性グループホーム(しあわせ、そよ風)
地域での住まいの場の提供と地域活動支援をしています。ここで生活する方は家族です。今日の疲れを癒し、明日への元気を養い「団らんと自立」を支援します。

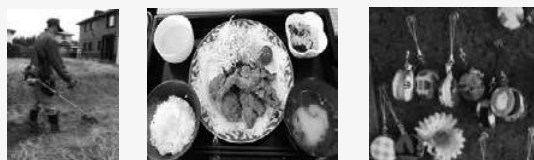


就労継続支援事業所 B 型元気

楽しく働き「元気」になろう！
利用者さんの働きたいを支援。皆さんの良いところを活かした作業提供を行っています。

【作業内容】

- 個人宅庭の草刈り・簡単な剪定・片付けなど、
- 軽食、喫茶、弁当販売
- 野菜出荷補助、野菜加工補助、清掃作業など
- 農作物、花などの生産販売、縫製作業



相談支援センター笑顔

地域生活での困りごとや悩みごとと一緒に考え、障がいのある人もない人もお互いに支えあう地域福祉づくりや人と人が繋がる場所を目指しています。

「事業内容」

- 相談支援
- 障がい福祉サービス利用時の計画作成
- 同行支援:診察や各種手続き・買物など
- 関係機関との調整、連携



地域活動支援センターしんとみ

プログラムの提供や自発的な活動、仲間づくり、社会との交流を通して、本人の希望する地域生活を支援しています。

「事業内容」

- 自発的な活動支援や仲間・居場所づくり
- 創作・生産活動
- レクリエーションや趣味活動の楽しみ支援
- 地域との交流



住 所:宮崎県児湯郡新富町大字日置 1550 番 2

利用日:月～金曜日 利用時間:8:30～17:30(時間外対応可)

電話番号:0983-33-0330 FAX 番号:0983-33-3910

メールアドレス:happypark_egaotogenki@ybb.ne.jp

就労継続支援B型事業所

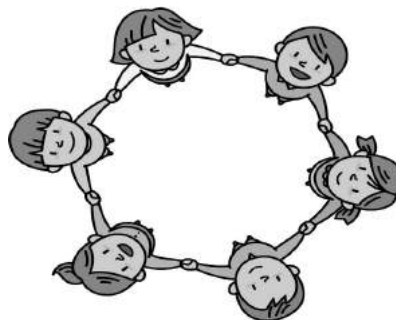
浩洋ワーキングクラブ

<事業所の目的>

社会の中で自立し、自己実現を目指す。就労の中で、みんなと触れ合い社会性をつくる。社会生活の質を上げるために、就労に必要な知識や技能を向上させ、社会参加を実現していき、生き甲斐をつくる。

- ・設置主体 特定医療法人 浩洋会 田中病院
- ・事業所の名称 浩洋ワーキングクラブ
- ・所在地 宮崎県東臼杵郡門川町宮ヶ原4-74
- ・開所年月日 平成29年 4月3日
- ・定員 20名
- ・昼食 250円で利用できます
- ・送迎 延岡市 門川町 日向市

※作業後にシャワー室が利用でき、調理師による美味しい昼食を提供しています。



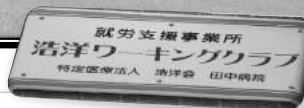
～活動例～

- 9時 朝礼
- 9時半 作業
- 12時 昼食・昼休み
- 13時 作業
- 15時 終礼

利用日：月～金（土日出勤あり）
定員（20名）

<事業内容>

- ・田中病院委託業務
- ・リサイクル活動
- ・ビー玉製作
- ・農園芸作業
- ・外部委託作業



お問い合わせ先

電話：[0982-57-3630] FAX[0982-57-3631]
住所：〒889-0623
宮崎県東臼杵郡門川町宮ヶ原4-74
E-mail : koyo-workingclub.17@sage.ocn.ne.jp



宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成29年度事業実績

1. 会議開催

- (1) 第1回総会（平成29年5月29日）
 - ① 役員を選任について
 - ② 平成28年度事業実績について
 - ③ 平成28年度決算について
 - ④ 報告事項
 - ・第16回（平成29年度）宮崎県障がい者スポーツ大会の開催実績について
 - ・精神保健福祉活動支援事業について
- (2) 第2回総会・第1回理事会（平成29年8月21日）
 - ① 役員を選任について
 - ② 精神保健福祉功労者に対する「平成29年度宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰」の受賞者の選考について
 - ③ 平成29年度精神保健福祉活動支援事業の審査について
 - ④ 精神保健福祉みやざき（第57号）の発行について
 - ⑤ 報告事項
 - ・第57回精神保健福祉大会準備の進捗状況について
- (3) 第3回総会（平成30年3月12日）
 - ① 平成30年度事業計画について
 - ② 平成30年度当初予算について
 - ③ 平成30年度精神保健福祉活動支援事業について
 - ④ 第58回精神保健福祉大会開催概要及び特別講演について
 - ⑤ 平成30年度の全体テーマ及び大会テーマについて

2. 大会開催

- (1) 第16回宮崎県障がい者スポーツ大会
平成29年5月14日（日）宮崎県総合運動公園ほかで開催
参加者2,180名（選手数1,593名、うち精神障がい者325名）
- (2) 第57回精神保健福祉大会
平成29年11月10日（金）日南市南郷ハートフルセンターにて開催
参加者約500名

3. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 県大会時表彰状及び記念品授与7件（個人5名、団体2）

4. 支援・助成

- (1) 精神保健福祉関係団体助成事業（助成額35万円）

- ① 宮崎県精神福祉連合会（助成額30万円）

- ② 宮崎県断酒友の会（助成額5万円）

- (2) 精神保健福祉活動支援事業（助成額23万円）

（活動の部）

- ① 宮崎グリーンケア研究会（助成額10万円（自殺対策枠））

- ② 江南よしみ地域生活支援センター（助成額10万円）

（広報の部）

- ③ チャイルドライン宮崎（助成額3万円）

5. 普及・啓発

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第57号）」の発行・配布（1,000部）

- (2) 啓発誌「心の健康（No.72）」の作成・配布（8,000部）

- (3) 専用ホームページの運用

- (4) 検索システム「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用

- (5) 自殺対策診療・相談・支援機関情報誌「こころのハンドブック」の作成・配布

（県精神保健福祉センターと連携して700部作成・配布当協議会20万円支出）

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（福岡市） 平成29年11月24日開催

平成30年度事業計画

1. 大会開催

- (1) 第17回宮崎県障がい者スポーツ大会

平成30年5月13日（日）（会場：宮崎県総合運動公園）

※ポッチャは、平成30年5月20日（日）実施

- (2) 第58回宮崎県精神保健福祉大会

平成30年10月13日（土）（会場：メディキット県民文化センター）

2. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 第58回宮崎県精神保健福祉大会時に表彰状授与

3. 普及・啓発事業

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第58号）」の発行・配布（1,000部）
- (2) 啓発誌「心の健康（No.73）」の作成・配布（8,000部）
- (3) 広報媒体「専用ホームページ」等の運用
ホームページアドレス（<http://www.miya-seiren.com>）
- (4) 「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用
ホームページアドレス（<http://www.m-a-o-t.net>）
- (5) 「自殺対策強化月間（3月）」関連普及啓発
パネル展示、チラシなどの配布
- (6) 自殺対策診療・相談・支援機関情報誌「こころのハンドブック平成29年度版」の増刷・配布（予算の範囲内で、県精神保健福祉センターと連携して実施）
※赤い羽根共同募金会補助金の増額分で実施

4. 各種団体に対する助成

- (1) 宮崎県精神福祉連合会が実施する啓発活動等への助成
- (2) 宮崎県断酒友の会が実施する啓発活動等への助成
- (3) 精神保健福祉関係団体（公募）が実施する啓発活動等への助成

5. 総会・理事会の開催

- (1) 第1回総会（平成30年5月28日（月）開催）
平成29年度事業実績・決算承認、役員選任など
- (2) 第1回理事会（平成30年8月6日（月）開催）
会長表彰者決定、公募事業決定、機関誌発行など
- (3) 第2回総会（平成31年3月11日（月）開催予定）
平成31年度事業計画・当初予算承認、精神保健福祉大会など

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（佐賀県）平成30年11月2日開催予定
- (2) 全国精神保健福祉連絡協議会総会（山形県）平成30年10月18日開催予定

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿

平成30年10月1日現在

役 職	氏 名	機関・団体名等
会 長	高宮 眞樹	宮崎地域精神保健福祉協議会代表
副 会 長	石田 康	宮崎大学医学部精神医学教室教授
常 務 理 事	直野 慶子	宮崎県精神保健福祉センター所長
理 事	三山 吉夫	宮崎大学名誉教授
理 事	谷口 浩	日南申間地域精神保健福祉協議会代表
理 事	竹内 康三	都城北諸地域精神保健福祉協議会代表
理 事	内村 大介	西諸地域精神保健福祉協議会代表
理 事	中林 永一	西都児湯地域精神保健福祉協議会代表
理 事	鮫島 哲郎	日向入郷地域精神保健福祉協議会代表
理 事	吉田 建世	延岡地域精神保健福祉協議会代表 宮崎県精神科医会会長
理 事	植松 昌俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会代表
理 事	田中 洋	宮崎県精神科病院協会会長
理 事	中村 究	宮崎県精神科診療所協会副会長
理 事	横山 幸子	宮崎県福祉保健課長
理 事	矢野 慶子	宮崎県障がい福祉課長
理 事	立本 久子	宮崎県精神福祉連合会理事長
理 事	川越 晋作	宮崎県断酒友の会理事長
理 事	矢野 光孝	宮崎県障害者社会参加推進センター所長
監 事	黒江 義之	宮崎県社会福祉協議会事務局長
監 事	瀧口 俊一	宮崎県保健所長会会長

●役員数：理事18名（会長1名、副会長1名、常務理事1名を含む）、監事2名

●役員任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年間。新任者も同じ任期）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿

正会員

平成30年10月現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
宮崎地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
日南串間地域精神保健福祉協議会	889-2536	日南市吾西1-5-10 日南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北諸地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西諸地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市大字堤3020-13 小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都児湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1 高鍋保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向入郷地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16 日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大貫町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井1086-1 高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
一般社団法人 宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松橋1-1-32 コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
一般社団法人 宮崎県精神科診療所協会	880-0001	宮崎市橋通西1-5-3 細見クリニク内	0985-35-1100	0985-38-1711	
宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 精神医学分野	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	http://www.mkensha.or.jp
宮崎県精神科医会	889-0511	延岡市松原町4-8850 吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会	880-0873	宮崎市堀川町165番地 立本久子様方	0985-29-6816	0985-29-6816	http://www5.ocn.ne.jp/~mkaren
一般社団法人 宮崎県断酒友の会	880-0913	宮崎市高岡町上倉永2644-3	0985-82-1898	0985-82-1898	
宮崎県障害者社会参加推進センター	880-0007	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-55-0258	
宮崎県保健所長会	882-0803	延岡市大貫町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
宮崎県福祉保健課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-26-7074	0985-26-7326	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県障がい福祉課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-32-4471	0985-26-7340	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-27-5663	0985-27-5276	http://www.seiho-center-miyazaki.com
宮崎大学名誉教授	889-1911	北諸郡三股町大字長田1270 老年期精神疾患センター内	0986-52-5800	0986-52-5573	

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院精神科	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/hospital
医療法人清芳会 井上病院	880-0123	宮崎市大字芳士80	0985-39-5396	0985-39-2410	http://www.inoue-hp.net
社会医療法人同心会 古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町敷木1749-1	0985-39-8988	0985-39-0067	http://www.kgh.or.jp
医療法人真愛会 高宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	http://www.takamiya.or.jp
一般財団法人弘潤会 野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	http://www.koujunki.jp
医療法人慈光会 宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	http://www.miyazaki-wakahisa.com
医療法人如月会 若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	http://www.miyazaki-wakakusa.or.jp

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
一般社団法人藤元メディカルシステム 大橋病院	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人恵心会 永田病院	885-0084	都城市五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	http://www.nagatahp.or.jp
一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元病院	885-0055	都城市早輪町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人一誠会 都城新生病院	885-0093	都城市志比田町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	http://www.shinsei-hp.jp
医療法人隆誠会 延岡保養園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	http://www.ryuseikai.com
医療法人建悠会 吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	http://www.yoshidahospital.or.jp
医療法人同仁会 谷口病院	887-0034	日南市大字風田3861	0987-23-1331	0987-23-7739	http://www.taniguchi-hospital.jp
医療法人浩然会 内村病院	886-0002	小城市水流追852番地1	0984-23-2575	0984-22-6442	http://www.uchimura-hospital.jp
医療法人信和会 小林保養院	886-0003	小城市堤2939	0984-22-2836	0984-22-5341	
医療法人和敬会 国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	0982-72-3151	0982-72-3153	http://www.kunimigaoka.or.jp
医療法人十善会 県南病院	888-0001	串間市大字西方3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会 協和病院	883-0021	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	http://www.kyowahospital.jp
医療法人望洋会 鮫島病院	883-0033	日向市大字塩見14168	0982-54-6801	0982-53-7313	http://www.sameshima-hp.jp
医療法人社団慶城会 瀧井病院	883-0033	日向市大字塩見11652	0982-52-2409	0982-52-2403	http://kejoukai.pr.miten.jp/modules/myalbum1
特定医療法人浩洋会 田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	http://www.h7.dion.ne.jp/~tanaka_h
医療法人恵喜会 西都病院	881-0023	西都市大字調殿1010	0983-43-0143	0983-43-3625	
医療法人りっか会 ピア・メンタルささき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島21230	0985-73-1811	0985-72-0640	http://www.peer-ricka.jp
医療法人あいクリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	http://www.ai-clinic.pro
医療法人社団静心会 近間クリニック	880-0031	宮崎市船塚1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
医療法人社団凌霄会 福永内科神経科医院	889-1607	宮崎市清武町大字加納1-29-2	0985-85-6006	0985-55-0886	
医療法人芳明会 早稲田クリニック	880-0933	宮崎市大坪町西六月2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	http://www.houmei.or.jp
野田クリニック	882-0052	延岡市萩町52	0982-35-7789	0982-34-0085	
こうメンタルクリニック	880-0905	宮崎市中村西3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~kogomentalclinic
北野メンタルクリニック	880-0824	宮崎市大島町南窪814-4711コ-ビル105	0985-22-7588	0985-22-7587	
福)宮崎県社会福祉事業団 向陽の里診療所	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
医療法人ハートピア 細見クリニック	880-0001	宮崎市橋通西1-5-3	0985-35-1100	0985-38-1711	http://www.hosomici.sakura.ne.jp
医療法人サザンクリニック	880-0912	宮崎市大字赤江830-1	0985-50-5771	0985-50-5663	
みずのメンタルクリニック	883-0041	日向市北町1-2	0982-50-0855	0982-57-3627	
医療法人聖心会 中村クリニック	880-0806	宮崎市広島1丁目17-21 ポレスターアーバンシティ広島1F	0985-32-7830	0985-32-7831	http://www.nakamura-cl.com
あけぼの診療所	889-1703	宮崎市田野町あけぼの2丁目5番地1	0985-74-5600	0985-74-5601	http://www.akebono-hp.com/
医社)博心会 大山脳神経外科クリニック	889-1411	児湯郡新富町雷田1丁目3番地2	0983-26-8111	0983-33-6365	
康雅メンタルクリニック	880-0001	宮崎市橋通西3丁目10-19	0985-27-2500	0985-27-8700	http://www.yasumasentalclinic.jp/
医療法人弘文会 松岡内科医院	883-0014	日向市原町1丁目2番2号	0982-52-5407	0982-52-9891	
大貫内科	882-0803	延岡市大貫町5丁目1646番地1	0982-28-2200	0982-32-1500	
医療法人こぶしくりニック	880-0941	宮崎市北川内町乱橋3628-3	0985-64-1010	0985-64-1012	
医療法人おがわクリニック	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦6199番地61	0983-32-5726	-	http://www7.biglobe.ne.jp/~ogawa-clinic/

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

ひきこもりに関する相談のご案内

- ・ひきこもって6ヶ月以上になる
- ・どこに相談したらよいかわからない

宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL : 0985-27-8133 0985-44-2411

※8:30~17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)

※まずはお電話ください。

精神科医による診療相談のご案内

ご本人やご家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相談	主な内容	日程	時間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも 午後2時 ~午後4時 (予約制)
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第2・4水曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	毎月2回 (不定期)	

※日程・時間は、医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

こころの電話相談

月曜日～金曜日【午前9時～午後7時】

(祝祭日、12/29～1/3を除く)

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聴いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。貸出しも行っています。

- 図書 専門書、一般向け雑誌など
- ビデオ 精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなど
- DVD
- パネル こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてもご利用できます。
※ホームページにパネル等を掲載しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取り組みを紹介しています。

アドレス <http://www.miya-seiren.com/>



カラダのゲンキはココロから。

宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】 <http://miyakoro.com>

家族教室のご案内

精神疾患(障がい)についての家族のための教室を開いています。精神科医等の話を聴き、病気や障がいへの理解を深め、家族の対応方法を学びます。

開催時期、内容についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- 依存症家族教室
- 発達障害家族教室
- ひきこもり家族教室

家族のつどいのご案内

同じ悩みを持つ家族同士が、つらい気持ちや不安を共有することで、混乱し孤立した状況から解放され、まずは家族自身が回復することを目的としたグループミーティングを行っています。

(匿名参加可)

開催日時についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

- ギャンブル依存症者の家族のつどい
- 薬物依存症者の家族のつどい

宮崎県精神保健福祉センター付近略図



交通のご案内

【宮崎駅から】

- タクシー：約10分
- バス利用：ボンベルタ橋前バス停まで徒歩10分
ボンベルタ橋前バス停から7番線(下北方行)で和知川原バス停下車徒歩5分
又は8番線(平和台行)で花殿町バス停下車徒歩5分

宮崎県精神保健福祉センター

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター4階

TEL : 0985-27-5663 / FAX : 0985-27-5276

アドレス <http://www.seihocenter-miyazaki.com/>

精神保健福祉みやざき(第58号)

平成30年10月発行

編集発行 宮崎県精神保健福祉連絡協議会
〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2
TEL 0985-27-5663
FAX 0985-27-5276

印刷製本 有限会社 K・I印刷
〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19
TEL 0985-65-4024

編集委員会 委員名簿

中央保健所健康づくり課	主任保健師	日 高 真 紀
日南保健所健康づくり課	主任保健師	永 山 加 恵
都城保健所健康づくり課	技 師	岡 田 菜々夏
小林保健所健康づくり課	技 師	川 平 陽 子
高鍋保健所健康づくり課	主任技師	宮 里 瞳
日向保健所健康づくり課	主任技師	田 邊 真 理
延岡保健所健康づくり課	技 師	桑 原 可 菜
高千穂保健所健康づくり課	主任技師	寺 町 真由美
精神保健福祉センター	副 所 長	甲 斐 靖 典
	主幹兼主任	家 弓 文 孝
	主 査	高 橋 賢 二

精神保健福祉

みやがき



この広報紙は赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

再生紙を使用しています